

第11回症例検討会

case20

2021年 10月 11日(月)

60歳代 男性

主訴:左肩関節痛

現病歴:高血圧症、高コレステロール血症

医療機関:漢方クリニック

内服薬:血圧降下剤2種類、高コレステロール血症治療薬、八味地黄丸

生活歴:アルコール:ビール350ml/day、焼酎水割り少々

喫煙:なし

アレルギー:なし

客觀的情報

9/7現在

身長: 172cm 体重: 72kg BMI: 25.35kg/m²

体温: 36.1°

脈拍: 51回/分

血压: 113/66mmHg

SpO₂: 98%

O(objective) 客観的情報

A(assessment) 評価

東洋医学的情報

証: 肝腎陰虚

寒熱: 暑がり 汗: 動くとすぐ汗をかく

二便: 問題なし 睡眠: 浅い、5～6h

硬結: 頸肩こり、下腿張り

脈診: 結、遅、濇

舌診: 胖大舌

舌色: 紅 舌形: 大

食事: 規則的に3食、晩酌

精神: 今年退職された

治療

取穴：痛み部位を囲うように、肩の阿是穴4点へのパルス療法

刺鍼法：深刺 置鍼 撚鍼

得気：有

深さ：硬結部の筋膜まで

通電：有

経過

x年5月下旬 通院歴3年の患者。

新型コロナワクチン(ファイザー製)1回目。

注射した部分への痛みがあったが、後の気になる副反応はなかった。

関係は不明だがr足底筋膜炎再発。

x年6月中旬 新型コロナワクチン(ファイザー製)2回目を摂取。2回目も特に気になる副反応なし。

x年7月中旬 r肩のワクチン接種部位に違和感を感じ始める。

8月には痛みに変化。その後だんだん顕著になってくる。

新聞を持っていても痛い。コップを持って手を挙げると痛い。

筋肉痛に似ている、との事。

挙上制限なし。

VAS70～80/100、痛くて何もできない感じでもない。

x年9月初旬 通院中の漢方クリニックで相談したところ、鍼灸(パルス療法)が良いと説明を受け
当院への通院時に対応した。

x年9月中旬 前回の鍼灸後、痛みが消失。ほぼ気にならない。

VAS20/100

(9/22現在)

	年齢	主訴(元々の)	ワクチン後の訴え	ワクチンからの期間	経過
A.女性	60歳代	左拇指MP関節痛、右膝関節痛	易疲労・倦怠感	接種後～1ヵ月以上	継続中
B.女性	50歳代	腰痛、めまい、更年期症状	倦怠感、腰痛	接種後～2週間以上	継続中
C.女性	40歳代	のぼせ、更年期症状	股関節痛	接種後～1ヵ月	現在は消失
D.女性	40歳代	頭痛、右股関節痛	頭痛	接種後～1ヵ月以上	継続中
E.女性	70歳代	右肩関節痛、右股関節痛	めまい	接種後～2週間	現在は消失
F.男性	40歳代	肩こり、腰痛	股関節痛	接種後～1ヵ月	現在は消失
G.男性	30歳代	腰痛	長引く発熱	接種1週間後～1週間以上	継続中 接種1週間後から発熱(38～9°)。近隣クリニック受診しPCR検査2回とも陰性。血液検査、肝数値の軽度の悪化。

※1.本人がワクチン接種後から感じている訴え

※2.ワクチン接種後72 h 以上経過しても続く訴え

考察

- 接種部位に何が起きていたかわからない
- ワクチンとの因果関係もわからない(2回目接種後1ヶ月経過している)
- 本人によると接種部位の筋肉の痛みであるとの事
- 鍼灸施術により改善(VAS80⇒20)

「注意深い対応が必要である」と感じた

⇒安易な対応や回答が患者さんの不安をあおってしまう

ネット上にもいろいろと書かれている、今後同様の訴えは増えてくると考えられる

慎重な対処、報告など、抱え込まずに広く情報を集めて

連携での対応・姿勢が望ましいのではないか??

鍼灸師の職責とは??

それぞれの職業の専門性による情報の提供

情報の整理、情報リテラシー(1次情報・2次情報・公的機関・推測憶測記事の分類)

不安を抱えた患者さん心理を理解し、不安を増幅させる言動には注意したい

参考

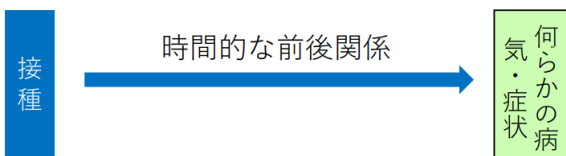
ワクチンの副反応に対する考え方及び評価について

第51回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会

<https://www.mhlw.go.jp/content/10601000/000739054.pdf>

参考

接種後に起きた病気・症状と、接種との因果関係について



被接種者に生じた、あらゆる好ましくない病気や症状

(ワクチンとの因果関係が明らかなもの、不明なもの、他の原因によるものを全て含む)

※adverse eventを訳して有害事象と表記される

「副反応疑い」として報告される事象

予防接種法・医薬品医療機器等法において、副反応を疑う場合の報告基準が定められている。

<例：予防接種法に基づく報告の対象>

予防接種を受けたことによるものと疑われる症状のうち、

- ・ 予防接種ごとに、副反応として起こりうる典型的な症状（対象疾病・症状・接種後の期間を国が規定）
- ・ 医師が予防接種との関連性が高いと認める症状であって、入院治療を要するものや、死亡・障害に至るおそれのあるもの

ワクチン接種と因果関係のある病気や症状

26

副反応の評価に関する視点

- ◆ 予防接種法に基づき接種が行われるワクチンについては、薬機法に基づく副作用の報告制度に加え、一定の副反応を疑う事例について、より幅広く報告する仕組みを設けている。こうした報告から、ワクチン接種後の病気・症状の頻度等を評価・分析し、副反応の探知を行っている。
- ◆ 接種後に被接種者に生じたとして報告される疾病や症状には、ワクチンとの因果関係が明らかなもの、不明なもの、他の原因によるものが混在する。
- ◆ 通常、予防接種と関係なく様々な疾病・症状が発生していることから、ワクチンとの因果関係がなくても、接種後にこうした疾病・症状が起きることがある。
- ◆ 特に高齢者は様々な疾病が発症・重症化しやすいことから、接種後にたまたまそうした疾病が発症・重症化することがある。多人数に接種を行った場合は、そうした報告の件数が増える可能性がある。

Mail

28

ワクチンの副反応に対する考え方及び評価について
第51回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会

90歳代 女性 新型コロナウイルス感染症

既往歴：腰椎椎体圧迫骨折(x-1年)

現病歴：フレイル、廃用性症候群、要介護3、新型コロナワクチン未接種

食事と排泄以外はほとんどベッドで過ごす、外出はない

生活歴：娘婿(70歳代)と2人暮らし(同居の娘とは3年前に死別)

週3人のヘルパー訪問、訪問診療

コロナ禍においては、特に親族とも接触を少なくして感染に気を配っていた。

経過：

X年8月中旬 発熱、PCR陽性、点滴、酸素吸入、訪看毎日、遠隔カメラ

入院先が決まらず自宅内で隔離

X年8月下旬 発熱から1週間後、都立病院に入院、レムデシビル点滴投与

X年9月初旬 PCR検査陰性

X年9月中旬 療養型・慢性期病棟のある病院に転院

転院時のPCR検査再度陽性

入院中に誤嚥性肺炎を起こす、積極的治療はしない

経鼻栄養も本人が拒否、点滴のみ、家族も面会できない状況が続く